

県本部・活動拠点本部会議（8月17日・朝）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- 厚生労働大臣への報告：厚生労働大臣の来訪に伴い、7月28日からの支援活動状況および現状の取り組み・課題についての報告を実施する。
- 要配慮者アセスメントと接続の継続：八代拠点において、前日把握した要配慮者（約10名）のアセスメントを進行し、うち3件を地域包括支援センターや居宅介護支援事業所へ繋ぐ対応を進めること。
- 本部報告・統制ルールの徹底：熊本県 DWAT 本部が全体状況を把握・承認していない動きは一切行わない（各拠点・各チームの動向は必ず拠点本部へ報告する）ルールを全派遣員に周知・徹底すること。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- 本日は避難所巡回を実施。前日上がってきた約10名の要配慮者についてアセスメントを推進。うち3件を包括支援センターや居宅介護へ接続予定。

● 宇城地域

- 優先対応：小川防災避難所の認知症の方への対応を最優先で確認・調整中。
- 要配慮者リストの更新が遅れているため、アセスメントと並行して情報の更新を推進。
- ・り災証明・生活再建ニーズ：家族対応が決まっている方と未申請・未決定の方の聞き取り整理を各チームへ指示。社協・ボランティアニーズの共有方法について、市福祉部および担当者と協議予定。

● 氷川地域

- 要配慮者は現在合計48名把握されているが、一般避難所3箇所（氷川東小・西小・氷川中）への DWAT 常駐開始に伴い、さらに抽出される見込み。
- 本日昼過ぎより、福祉避難所（公民館）の運用方針を協議する県センター会議に出席予定（この会議により大きな方向性が決定する見込み）

● 本部

- 行政職員の疲労蓄積：前線に対応する行政職員の疲労が蓄積しており、能登地震時と比較しても疲労数値が高くなっているとの報告あり。保健健康領域（DMAT/DWAT 等）での手厚い支援が必要であると同時に、DWAT 隊員自身の体調管理・健康配慮も強く求められている。

■共有事項・確認事項

- 引き継ぎのための個別案件情報の管理徹底：長期化に伴い個別ケースの丁寧なフォローが必要となるため、担当者が変わっても正確に引き継げるよう「書面記録（ファイリング）」での蓄

積を共有・徹底する。情報管理（個人情報保護等）に配慮しつつ、重要情報を確実に残すこと。

- 関係機関・ボランティアとの連携強化 社協・ボランティアセンターとの連携において、ニーズ情報の効率的な共有方法やミーティング参画について、市行政福祉部等と連携を密にして協議を進めること。

■今後検討が必要な事項

1. 要配慮者の抽出・アセスメントおよび地域包括・居宅への引き継ぎ追加抽出される要配慮者への対応
 - ・一般避難所に DWAT が常駐開始したことで、新たに抽出される要配慮者（認知症、高齢者等）のアセスメント推進。
2. 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携強化（八代・宇城拠点）
 - ・アセスメント結果に基づき、在宅復帰やケアマネジャー・包括支援センター等へスムーズにケースを移管・接続するための手順検討。
3. 被災者の生活再建ニーズ（り災証明等）への具体的支援り災証明・住まいの確保に関する課題整理（宇城拠点）
 - ・親族対応で進めている方と、未申請で今後の対応方針が決まっていない方の仕分け・具体的聞き取り方法の検討。